

■先週の市場の動き

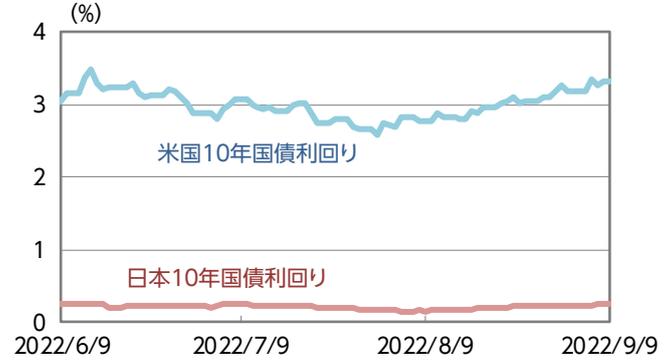
米国株式は反発。8月下旬以降の大幅下落を受けて、短期的な戻りを見込んだ買いが優勢となった。週後半は長期金利の上昇も一服し、調整局面での下げが大きかったハイテク株や景気敏感株を中心に買われた。原油先物の下落基調を受け、インフレ懸念がやや緩和したことも相場を支えた。

■株式市場



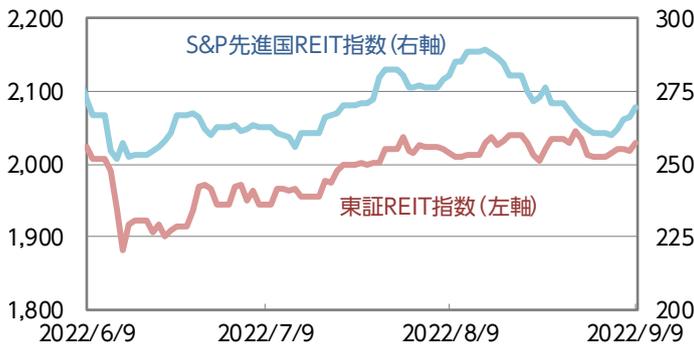
日経平均株価は反発。円安基調に加え、海外の株式市場が堅調に推移したことが買い材料となった。

■債券市場



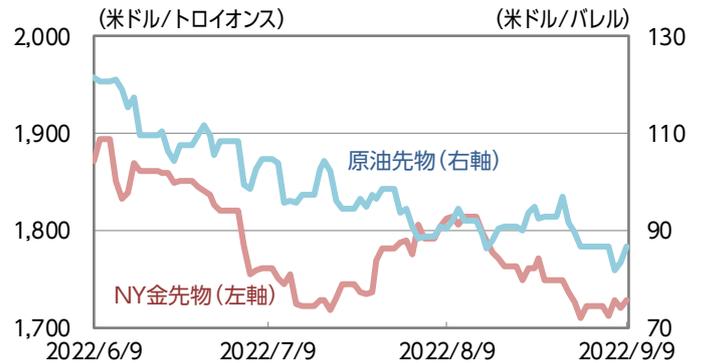
米国10年国債利回りは上昇、一時3カ月ぶりの高水準。欧州金利の上昇や米国の金融引き締め長期化観測が売り材料となった。

■REIT市場



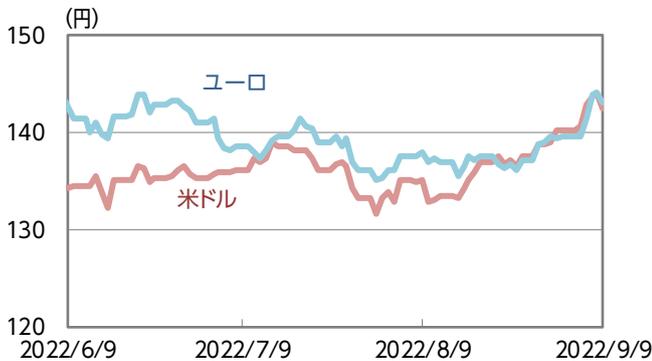
国内、海外共に反発。株価が堅調に推移し、リスク資産であるREITも買いが優勢となった。

■コモディティ市場



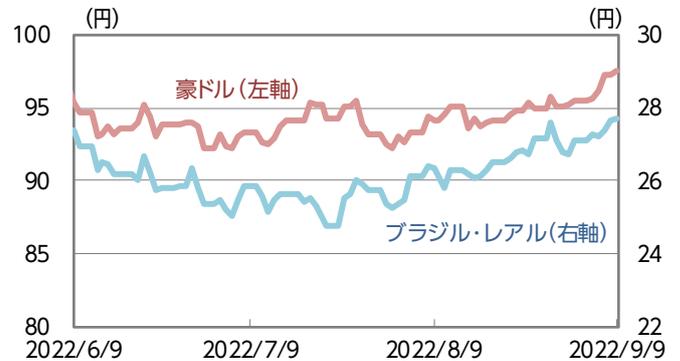
原油は小幅に続落。欧米の主要中央銀行の金融引き締めで需要が減少するとの見方から売りが優勢となった。金は反発。

■為替市場(米ドル/円、ユーロ/円)



米ドル/円は続伸。ユーロ/円は続伸。欧米金利の上昇を受け円安が進んだ。米ドル/円は一時約24年ぶりの高水準を付けた。

■為替市場(豪ドル/円、ブラジル・リアル/円)



豪ドル/円は続伸。ブラジル・リアル/円は反発。

※原油先物はニューヨーク・マーカンタイル取引所 WTI先物価格
(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

■主要指数の動き

	先週末	騰落率				先週末	変化率				
		9/9	1週間	1か月			3か月	9/9	1週間	1か月	3か月
株式関連	日経平均株価	28,214.75	2.04%	0.77%	▲0.11%	為替レート (対円)	米ドル	142.47	1.62%	5.49%	6.04%
	TOPIX	1,965.53	1.83%	1.47%	▲0.18%		ユーロ	143.15	2.57%	3.79%	0.36%
	JPX日経インデックス400	17,742.16	2.07%	1.82%	0.01%		英ポンド	165.14	2.34%	1.18%	▲1.63%
	米国 NYダウ	32,151.71	2.66%	▲1.90%	▲0.38%		豪ドル	97.58	2.18%	3.70%	2.32%
	米国 S&P500指数(米ドルベース)	4,067.36	3.65%	▲1.34%	1.23%		カナダ・ドル	109.27	2.38%	4.32%	3.29%
	米国 S&P500指数(円ベース、配当込み)	6,242.69	5.46%	4.35%	7.85%		ノルウェー・クローネ	14.37	2.68%	3.43%	2.64%
	米国 ナスダック総合指数	12,112.31	4.14%	▲3.05%	3.05%		ブラジル・リアル	27.69	2.16%	5.13%	1.11%
	英国 FTSE100	7,351.07	0.96%	▲1.83%	▲1.67%		香港ドル	18.16	1.66%	5.58%	6.07%
	ドイツ DAX	13,088.21	0.29%	▲3.30%	▲7.82%		シンガポール・ドル	101.85	1.86%	3.93%	4.82%
	香港 ハンセン指数	19,362.25	▲0.46%	▲3.21%	▲11.46%		中国・人民元	20.58	1.35%	2.94%	2.71%
	中国 上海総合	3,262.05	2.37%	0.45%	0.71%		インド・ルピー	1.79	2.00%	5.75%	3.86%
	インド S&P BSEセンセックス指数	59,793.14	1.68%	1.60%	8.09%		インドネシア・ルピア	0.96	2.18%	5.70%	4.26%
	ブラジル ボベスパ	112,300.41	1.30%	3.36%	4.86%		トルコ・リラ	7.81	1.38%	3.56%	▲0.22%
	南アフリカ・ランド	8.23	1.64%	1.01%	▲5.00%		メキシコ・ペソ	7.16	1.86%	7.31%	4.81%
	債券関連	日本10年国債利回り	0.245%	0.010	0.085		0.000	※先週末休場の市場は直近値			
米国10年国債利回り		3.310%	0.120	0.532	0.268	※国債の騰落率は利回りの変化幅					
ドイツ10年国債利回り		1.698%	0.173	0.777	0.268	※米国ハイイールド債券はICE BofA US・ハイイールド・BB-B・インデックス					
米国ハイイールド債券		438.04	1.37%	▲1.85%	▲0.79%	※東証REIT指数は配当なし					
その他	東証REIT指数	2,029.27	0.99%	0.68%	0.26%	※S&P先進国REIT指数は除く日本、米ドルベース、配当なし					
	S&P先進国REIT指数	269.25	3.30%	▲3.97%	▲1.13%	※S&P香港REIT指数、S&PシンガポールREIT指数は米ドルベース、配当なし					
	S&P香港REIT指数	333.93	0.54%	▲5.11%	▲10.71%	※NY金先物は1トロイオンス当たりの米ドル建価格					
	S&PシンガポールREIT指数	317.93	2.04%	▲3.67%	▲3.76%	※アレリアンMLPインデックスは米ドルベース、配当込み					
	ブルームバーグ商品指数	118.52	▲0.49%	▲0.12%	▲13.24%						
	NY金先物	1,728.60	0.35%	▲4.62%	▲7.61%						
アレリアンMLPインデックス	1,488.96	1.35%	7.27%	▲0.48%							

■主要経済指標

<国内>

毎月勤労統計調査(7月)	実質賃金は前年同月比▲1.3%、4カ月連続の減少。物価上昇が影響。
家計調査(7月)	実質消費支出は前年同月比+3.4%。行動制限がなく旅行や外食が増加。
景気ウォッチャー調査(8月)	現状判断指数は前月比+1.7ポイントの45.5。先行判断指数は同+6.6の49.4。
実質GDP成長率(4-6月期、2次速報値)	前期比年率+3.5%。速報値(同+2.2%)から上方修正。設備投資、個人消費が上振れ。
東京都心オフィス空室率(8月)	前月比+0.12ポイントの6.49%。大型成約が少なく空室面積が増加。

<米国>

ISM(米供給管理協会)非製造業景況指数(8月)	前月比+0.2ポイントの56.9。予想外の上昇。新規受注拡大や供給制約に改善の兆し。
貿易収支(7月)	赤字は前月比▲12.6%の706億ドル。輸入が減少、輸出は小幅増で過去最高を更新。

<中国>

貿易統計(8月、米ドル建て)	輸出は前年同月比+7.1%。前月の同+18.0%から伸びは鈍化。外需、内需共に低迷。
消費者物価指数(8月)	前年同月比+2.5%。前月から伸びは鈍化。猛暑やコロナ感染再拡大の影響。

GDP: 国内総生産

■今後の焦点

【国内】

日付	イベント
9/14	機械受注(7月)
9/15	貿易統計(8月)
9/20	全国消費者物価指数(8月)
9/22	全国百貨店売上高(8月)
9/22	日銀金融政策決定会合の結果発表

【海外】

日付	イベント
9/13	米消費者物価指数(8月)
9/14	ユーロ圏鉱工業生産指数(7月)
9/14	英国消費者物価指数(8月)
9/14	米生産者物価指数(8月)
9/15	米小売売上高(8月)
9/16	中国工業生産指数(8月)
9/16	中国小売売上高(8月)
9/16	米消費者信頼感指数(9月、ミシガン大調べ)
9/20	米住宅着工件数(8月)
9/21	米中古住宅販売件数(8月)
9/21	FOMC(米連邦公開市場委員会)結果発表

(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

【投資に関する留意事項】

◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債など値動きのある有価証券等を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

◎投資信託に係る費用について

投資信託にご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

1. 購入時に直接ご負担いただく費用 (1) 購入時手数料 上限 3.85%(税込) (2) 信託財産留保額 上限 0.1%
2. 換金時に直接ご負担いただく費用 (1) 信託財産留保額 上限 0.5%
3. 保有期間中に間接的にご負担いただく費用 (1) 信託報酬 上限年率 2.09%(税込、概算)

※ファンド・オブ・ファンズ形式の場合は、一部を除き、投資信託が投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。

※一部の投資信託および投資信託証券には運用実績等に基づき計算される成功報酬額が別途かかる場合があります。この場合、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合がありますが、成功報酬額は運用実績等により変動するため、上限額等を事前に表示することができません。

4. その他費用 (1) 上記以外に投資信託の保有期間等に応じてご負担いただく費用(*)があります。これらの費用は、運用状況等により変動するため、料率、上限額等を事前に表示することができません。

(*) 監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用、投資信託証券の解約に伴う信託財産留保額、および投資信託が実質的に投資対象とする仕組み債券の価格に反映される費用等

上記の費用の合計額については、お客様が投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に表示することができません。

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友トラスト・アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率(作成日現在)を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧ください。

◆設定・運用は



商 号 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。